



2021年12月1日発行

2021年12月号 (通算255号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2021~2022主題】

国際会長	キム・サンチェ	「Y's Men with the World」
アジア太平洋地域会長	大野 勉	「Make a difference beyond the 100th」
東日本区理事	大久保 知宏	「私たちは次の世代のために何ができるか？」
あずさ部長	長谷川 あや子	「道を拓く～愛と協力によって」
東京武蔵野多摩会長	渡辺 大輔	「原点に立ち返って何ができるか考えよう」

【クラブ役員】

会長	渡辺 大輔
副会長	小林 文彦
書記	山口 直樹
会計	宮内 友弥

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2021年
12月の聖句

さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか

ルカによる福音書 第2章15節

ワイズメンズクラブモットー 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにY M C Aに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

12月例会の予定

強調月間：初歩教理解 記録

日時：12月4日(土)

15:30~17:30

会場：ZOOM開催

司会：小林

〈プログラム〉

- * 開会挨拶、点鐘、ワイズソング
- * ゲスト、ビジター、メンバー紹介
- * 西東京センタークリスマスYouTube
配信の協力動画撮影(クイズ大会)
- * 連絡、報告、にこにこ
- * 閉会挨拶、点鐘：渡辺会長

* 12月のハッピー・バースデー なし

11月例会報告

在籍者	10名
出席者	8名
メーキャップ	0名
出席率	80%
ゲスト(リーダー)	2名
ビジター	2名
メネット・コメント	0名
にこにこ	6000円

「クリスマスについて」

江夏 一彰

教会の暦では、今年は11月28日から新しい年となり、いよいよクリスマスを迎える準備の期間へと入ってまいりました。聖書にはクリスマスが12月25日と明記されている箇所はどこにも見当たりません。このクリスマスは、英語ではChristmas と表記されChrist(キリスト)+mas(ミサ)からなっており、つまり、キリストのミサという意味になります。では、いつ位から12月25日にクリスマスのお祝いをするようになったのでしょうか。

古代教会では、4世紀から降誕を祝う祭日が生まれています。ローマでは、当時さかんだった太陽神崇拝のミトラス教がローマ暦で冬至にあたる12月25日を不滅の太陽神の誕生日としていましたが、教会ではキリストこそ真の正義の太陽であるとの考えから、この日を降誕の日として祝うようになりました。また、暦の種類が異なることから東方教会(日本では駿河台にあるニコライ堂が有名ですね)では、クリスマスは1月7日(東方教会ではユリウス暦を使用しているため、13日のずれが生じます)となります。

日本ではクリスマスよりもクリスマスイブである12月24日の夜から大騒ぎとなりますが、根拠があるのでしょうか？ 実は、これも暦の問題なのですが、ユダヤ暦では1日は日没から日没までとなっていますので、つまり、12月25日の1日の始まりは、24日の日没からとなりますので、クリスマスはここから始まるということになるのです。因みに、イブは「evening(夜、晩)」と同義の古語「even」の語末音が消失したものです。

クリスマスはイエス・キリストがこの世に生まれたことをお祝いする日です。神様はご自身が大切にしているものを、私たちに与えて下さった日といっても良いでしょう。そして、その方が世の中の光となって私たちと共に歩んでくださっていることを覚えないものです。

< 11月例会報告 >

スピーカー 出沼一弥さん

2021年11月10日 19:00~21:00 (西東京センターとZOOMでのハイブリッド開催)

出席者 ビジター; 長谷川(八王子)、山本(八王子)

同席スタッフ; 山浦さん、白川さん

クラブ出席者; 板村、中村、宮内、出沼、山口、渡辺、伊佐、小林
(内、ズーム参加; 山本、渡辺、伊佐、小林)

11月例会は、担当主事の出沼さんより、西東京センターで行っている放課後等デイサービスPIT(ぴっと)国立に関して話を伺った。

放課後等デイサービスは、発達に課題のある小中学生を対象として学校の放課後や長期休業中に、安心できる居場所やソーシャルスキルトレーニング等の療育プログラムを提供する。2012年にスタートした児童福祉法に定められた放課後等デイサービスとして行っている。参加するには行政の発行する「受給者証」が必要。全国的に利用者は大変増加しているとのこと。

東京Yでは1996年にLDの児童を主な対象とした、ソーシャルスキルトレーニングを行う「ASCA(アスカ)クラス」をスタートさせていた。「PIT国立」ではASCAクラスの流れもあり、ソーシャルスキルトレーニングを重点にした内容で行っている。ちなみに山手センターでの「PIT西早稲田」は水泳指導を行うことを特徴としている。

PITの指導員(元リーダー)の山浦さんと白川さんから例会当日(11/10)に行ったプログラム内容の説明を受けた。注意散漫になってしまうメンバーが集中して話を聴けるようになるために「穴埋め式の聴き取り」や自己表現が楽しくできるキッカケとして「水墨画」を取り組んだ様子を聞いた。

子どもたちにとって、楽しい時間になるようにしている。注意していることは、子どもに真摯に向かい合うこと。言葉や行動の裏側も考えること。また、少しでも苦手なことにチャレンジしてほしいと思っている。指導員をしていて学んだことは様々な特徴のある人を受け入れること等の生の声が聴け、子どもたちと真摯に向き合っている姿を見ることができた。「PIT」が様々な生きづらさを感じている子供たちにとって、居心地の良い居場所になっていることをすごく感じた。

残念なことに、財政的な問題などにより、「PIT国立」は今年度で終了するとのこと。コロナの影響でますます人のかかわりの大切さが求められている今、YMCAが地域の中で本当に必要とされていると考えたと残念に思えてならない。話の最初に、出沼さんのYとの出会い、その中で山田公平さんに大きな影響を受けたことなども聞くことができた。出沼さんがYで求めていることの一端を感じることができた。

(山口直樹)

11月例会の様子



<東京YMCA便り>

▼11月13日「ソシアス2021（会員協議会）」

会員部主催のソシアス2021が東陽町センター及びオンラインで開催されました。会員、職員合わせて50名が参加し「YMCAの会員活動の活性化に向けて」をテーマに上田晶平氏（会員部運営委員長）の発題を受けて、7グループに分かれて意見交換を行いました。

▼Amazonみんなでサンタクロースプログラム

Amazonの企画による「ほしいもののリスト」を活用したクリスマスチャリティーキャンペーンに全国23のYMCAが参画しています。東京YMCAは子ども食堂「下町こどもダイニング」や日本語支援「にじいろサポート広場」に通う子どもたちに送るクリスマスプレゼント（お菓子や文具）の支援を呼びかけています。

▼今後の予定

12月4日 オンライン講演会

「合理的配慮の実際ってどうなってるの？～申請から実際までの流れ～」

講師：吉野智子氏（早稲田大学障がい学生支援室コーディネーター）

主催：東京YMCA高等学院

1月29日 第16回子育て講演会（オンライン配信）

「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」

講師：汐見稔幸氏（東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長、日本保育学会理事）

（出沼一弥）

「楽しく生きるには」

先日、国立市の「認知症の日」のイベントをオンラインでのぞいた。そこで近藤勝則さんの話を聞き、早速、著書の「長生きできる町」（角川新書）を図書館で探した。そこで元気に生きていくことのヒントをいくつかもらった。多くのデータに基づく話で大変説得力があり、漠然とイメージしていたものの確認になった。いくつか紹介したい。

「健康寿命を延ばすにはどうすればよいか」の章の見出しを書いてみる。

- ・運動は一人よりグループのほうがいい
- ・笑わない人は1.5倍不健康
- ・男性で孤食だと死亡リスクは1.5倍
- ・共食で鬱は少ない
- ・つながりが豊かだと認知症は少ない
- ・運動しやすい環境を作ることが重要
- ・スポーツは見るだけでも健康へ

全てワイズ活動が行っていることに通じるものである。多くの人とのつながりで、気の置けない仲間もでき、ともに食べ、飲み、大いに笑う。体を動かすプログラムも多く、無理なく知らず知らずのうちに運動をしている。0次予防は健康に良い環境づくりとのことだそうだが、まさにワイズで作られている環境がそれにあたると認識した。また、ボランティアの言葉がこの本のいたるところにできた。コロナでつながりの薄くなってしまっているが、ともに顔を見、会話することからはじめ、落ち着いたところで笑いながら飲み食いしたいものだ。

（山口直樹）

今後のクラブ行事予定

12月 4日（土）15:30-17:30 12月例会（西東京センターのクリスマス配信用動画の撮影会）、ZOOM開催

12月 18日（土）19:00-21:00 第2例会（忘年会）、ZOOM開催

12月の第1例会、第2例会は、いずれも土曜日の開催に変更です。また、いずれの会もZOOM開催です。

1月 8日（土）13:00 在京ワイズ新年会

1月 12日（水）19:00-20:30 1月例会、西東京センターとZOOMのハイブリッド開催

1月 26日（水）19:00-20:30 第2例会、ZOOM開催

1月以降、第1例会は西東京センターとZOOMのハイブリッド開催を、第2例会はZOOM開催を基本とします。

2月 9日（水）19:00-20:30 2月例会

2月 12日（土）あずさ部 評議会